

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社フジシールインターナショナル
【英訳名】	FUJI SEAL INTERNATIONAL, INC.
【代表者の役職氏名】	取締役 代表執行役社長 岡崎 成子
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区宮原4丁目1番9号
【電話番号】	06(6350)3278
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役財務担当 岡崎 裕夫
【最寄りの連絡場所】	大阪市淀川区宮原4丁目1番9号
【電話番号】	06(6350)3278
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役財務担当 岡崎 裕夫
【縦覧に供する場所】	株式会社フジシールインターナショナル 東京本社 （東京都千代田区丸の内1丁目9番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期 連結累計期間	第54期 第2四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	46,720,674	46,866,913	87,067,742
経常利益(千円)	5,046,463	4,847,097	7,760,109
四半期(当期)純利益(千円)	3,147,742	3,104,148	4,500,274
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	979,622	3,455,682	1,636,247
純資産額(千円)	46,623,008	49,884,541	46,920,733
総資産額(千円)	79,429,548	80,656,675	74,376,696
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	112.09	110.27	160.16
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.7	61.8	63.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,876,064	4,733,972	8,375,275
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,134,877	2,207,693	4,690,559
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	596,918	992,868	1,321,212
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	7,107,161	8,680,212	7,093,262

回次	第53期 第2四半期 連結会計期間	第54期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	51.24	46.72

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第53期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2四半期連結累計期間において、アセアン諸国における当社グループの事業拡大のため、平成23年5月9日付けで、ベトナムにFuji Seal Vietnam, Co., Ltd. を設立しましたので、当社の関係会社（連結子会社）が1社増加しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、わが国では東日本大震災後のサプライチェーン復旧等による経済活動の持ち直しの動きが見られましたが、電力の使用制限への対応や原材料価格の高騰、また欧米の経済不安に伴う円高の長期化などの影響により厳しい経済情勢となり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のなかで、当社グループでは、新中期経営計画「お客様のパッケージへのニーズを理解し、差別化した商品・サービスを提供し、お客様に一番に指名され続けるパートナーとなる」の基本方針のもと、お客様のニーズに沿った新しい機能やトータルコスト競争力のある包材・機械の開発に取り組み、お客様にとって価値ある製品を提供してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高468億66百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益46億67百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益48億47百万円（前年同期比4.0%減）、四半期純利益31億4百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

セグメント別の業績の状況は、以下のとおりであります。

#### (日本)

シュリンクラベルは日用品向けが好調に推移しましたが飲料向けの減少により、売上高は前年同期比1.3%減となりました。タックラベルは主にキャンペーンラベルが回復したことより前年同期比で5.6%増、ソフトパウチは日用品向けが貢献して前年同期比11.3%増、機械は前年同期比5.6%増となりました。その他では加工品の売上減少により前年同期比13.2%減となりました。

損益面では、原材料の値上げによる材料費増加や、夏場の電力制限対応のために生産シフトを変更したことによる運賃や人件費などの増加により減益となりました。

その結果、日本の売上高は340億77百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は35億62百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

#### (北中米)

シュリンクラベルは引き続き乳製品や飲料向けが好調に推移し、売上高は前年同期比6.2%増（現地通貨ベース）となりました。その他ラベルはインモールドラベルの販売減少により前年同期比3.4%減（現地通貨ベース）、機械は第2四半期において保守サービスの売上減少により前年同期比4.8%減（現地通貨ベース）となりましたが、機械受注及び検収は順調に進んでおります。

損益面では原材料の上昇による影響がありましたが、シュリンクラベルの売上増加及び各工場の生産性向上が貢献して増益となりました。

その結果、北中米の売上高は75億87百万円（前年同期比3.8%減、現地通貨ベース3.8%増）、営業利益は7億72百万円（前年同期比2.6%減、現地通貨ベース5.0%増）となりました。

#### (欧州)

シュリンクラベルは飲料向けが引き続き好調に推移し、売上高は前年同期比4.4%増（現地通貨ベース）となりました。機械はお客様での設備投資抑制が大きく影響し、前年同期比25.9%減（現地通貨ベース）となりました。

損益面では原材料の値上げに加え、東欧・南欧地区での競争力のある価格設定を行いました。コストダウン施策で吸収出来なかったこと、また機械の売上減少により減益となりました。

その結果、欧州の売上高は57億27百万円（前年同期比5.9%増、現地通貨ベース0.7%減）、営業利益は3億9百万円（前年同期比43.5%減、現地通貨ベース47.1%減）となりました。

(アセアン)

アセアンにおける売上高は6億56百万円となりました。損益面ではインドネシア及びベトナム法人の立上げ費用により営業損失25百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は806億56百万円となり、前連結会計年度末と比較し62億79百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が15億30百万円、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が季節的な要因による売上高増加で41億46百万円、たな卸資産が3億59百万円増加したことなどで流動資産が62億65百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は307億72百万円となり、前連結会計年度末と比べ33億16百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金(電子記録債務を含む)が28億93百万円、未払法人税等が6億49百万円増加したほか、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)8億58百万円の減少と長期借入金3億74百万円の増加等によるものであります。純資産合計は、利益剰余金の増加25億36百万円と為替変動の影響による為替換算調整勘定の増加3億18百万円などにより、前連結会計年度末に比べ29億63百万円増加し498億84百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、47億33百万円の収入(前年同期は38億76百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益48億33百万円を計上し、減価償却費21億87百万円及び仕入債務の増加額28億7百万円等による収入と売上債権の増加額39億23百万円及び法人税等の支払額又は還付額8億76百万円等の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、22億7百万円の支出(前年同期は21億34百万円の支出)となりました。これは日本及び北中米における設備投資に伴う有形固定資産の取得による支出22億54百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億92百万円の支出(前年同期は5億96百万円の収入)となりました。これは短期借入金の純増減額9億62百万円の減少及び長期借入金の増加4億93百万円と配当金の支払額5億67百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の末日における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億86百万円増加の86億80百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1,033,541千円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	30,080,978	30,080,978	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	30,080,978	30,080,978	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日 ~平成23年9月30日	-	30,080,978	-	5,990,186	-	6,827,233

## (6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社創包	大阪府豊中市	3,120	10.4
財団法人フジシールパッケージ ング教育振興財団	大阪市淀川区宮原4-1-9	1,500	5.0
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	1,411	4.7
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,293	4.3
全国共済農業協同組合連合会 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル (東京都港区浜松町2-11-3)	1,037	3.4
岡崎 成子	大阪府豊中市	901	3.0
野村信託銀行株式会社(信託口)	東京都千代田区大手町2-2-2	900	3.0
藤尾 正明	大阪府豊中市	900	3.0
藤尾 弘子	大阪府豊中市	892	3.0
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリッ シュ クライアーツ(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3-11-1)	608	2.0
計	-	12,565	41.8

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,393千株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 1,212千株

なお、それらの内訳は、投資信託設定分1,036千株、年金信託設定分1,077千株、その他信託分492千株となっております。

2. 上記のほか、自己株式を1,693千株(5.6%)保有しております。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)が保有する当社株式213千株は、当該自己株式に含めておりません。

3. 株式会社創包は岡崎成子が代表者であり、議決権行使については実質的に一体とみなされることから、当社の主要株主である筆頭株主は岡崎成子であります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,693,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,304,800	283,048	-
単元未満株式	普通株式 82,778	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	普通株式 30,080,978	-	-
総株主の議決権	-	283,048	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

2. 三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)が所有する当社株式213,500株(議決権の数2,135個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」に含めて表示しております。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フジシールインターナショナル	大阪市淀川区宮原4丁目1番9号	1,693,400	-	1,693,400	5.6
計	-	1,693,400	-	1,693,400	5.6

(注) 「三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)が所有する当社株式213,500株は、上記自己株式に含めておりません。

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当第2四半期連結累計期間における役員の異動はありません。なお、執行役の担当変更は以下のとおりであります。

取締役・執行役の状況

(執行役の担当変更)

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役・執行役	日本担当	取締役・執行役	北中米担当	園田 隆人	平成23年8月1日
取締役・執行役	北中米担当	取締役・執行役	日本担当	古澤 力男	平成23年8月1日



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,881,272	9,411,580
受取手形及び売掛金	19,331,215	22,697,994
電子記録債権	1,199,638	1,979,475
商品及び製品	3,382,289	3,173,111
仕掛品	1,528,671	1,955,593
原材料及び貯蔵品	2,223,298	2,364,635
繰延税金資産	1,135,701	1,207,951
その他	1,584,908	1,736,497
貸倒引当金	55,756	49,725
流動資産合計	38,211,239	44,477,113
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	8,346,968	8,642,345
機械装置及び運搬具(純額)	16,389,941	16,071,766
土地	5,012,435	4,812,581
リース資産(純額)	134,962	129,283
建設仮勘定	1,265,362	1,517,097
その他(純額)	478,583	456,916
有形固定資産合計	31,628,253	31,629,990
<b>無形固定資産</b>		
のれん	74,000	44,400
リース資産	339	216
その他	596,338	549,289
無形固定資産合計	670,677	593,906
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,702,527	2,718,217
繰延税金資産	641,239	643,867
その他	539,771	611,310
貸倒引当金	17,012	17,731
投資その他の資産合計	3,866,526	3,955,664
固定資産合計	36,165,456	36,179,561
資産合計	74,376,696	80,656,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	14,107,654	14,480,385
電子記録債務	-	2,520,333
短期借入金	2,854,130	1,880,326
1年内返済予定の長期借入金	610,477	725,606
リース債務	56,063	60,764
未払金	2,621,565	2,244,792
未払法人税等	837,724	1,487,230
賞与引当金	881,912	867,465
その他	1,400,678	1,667,859
流動負債合計	23,370,207	25,934,764
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,669,598	2,043,699
リース債務	88,333	86,005
繰延税金負債	966,432	1,223,167
退職給付引当金	1,256,298	1,387,644
資産除去債務	48,931	49,263
その他	56,161	47,589
固定負債合計	4,085,756	4,837,369
<b>負債合計</b>	<b>27,455,963</b>	<b>30,772,133</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,990,186	5,990,186
資本剰余金	6,233,090	6,233,090
利益剰余金	45,920,547	48,456,943
自己株式	3,839,309	3,763,430
株主資本合計	54,304,515	56,916,789
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,029	39,943
繰延ヘッジ損益	3,857	5,953
為替換算調整勘定	6,691,010	6,372,114
年金債務調整額	700,658	694,123
その他の包括利益累計額合計	7,383,781	7,032,248
<b>純資産合計</b>	<b>46,920,733</b>	<b>49,884,541</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,376,696</b>	<b>80,656,675</b>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	46,720,674	46,866,913
売上原価	36,023,757	36,520,959
売上総利益	10,696,916	10,345,953
販売費及び一般管理費	1 5,663,803	1 5,678,483
営業利益	5,033,112	4,667,469
営業外収益		
受取利息	14,948	30,093
受取配当金	16,878	17,366
持分法による投資利益	18,539	124,038
事務所移転補填金	32,053	-
その他	57,755	78,467
営業外収益合計	140,175	249,966
営業外費用		
支払利息	59,020	34,652
為替差損	65,531	30,815
その他	2,273	4,869
営業外費用合計	126,825	70,338
経常利益	5,046,463	4,847,097
特別利益		
固定資産売却益	1,647	3,807
貸倒引当金戻入額	8,166	-
特別利益合計	9,813	3,807
特別損失		
固定資産除売却損	57,390	17,484
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,917	-
その他	21,601	-
特別損失合計	95,910	17,484
税金等調整前四半期純利益	4,960,366	4,833,420
法人税、住民税及び事業税	1,504,141	1,527,669
法人税等調整額	308,482	201,603
法人税等合計	1,812,623	1,729,272
少数株主損益調整前四半期純利益	3,147,742	3,104,148
四半期純利益	3,147,742	3,104,148

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,147,742	3,104,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,124	35,913
繰延ヘッジ損益	-	9,810
為替換算調整勘定	2,094,495	501,392
持分法適用会社に対する持分相当額	68,909	182,496
年金債務調整額	32,409	6,534
その他の包括利益合計	2,168,120	351,533
四半期包括利益	979,622	3,455,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979,622	3,455,682
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,960,366	4,833,420
減価償却費	2,091,764	2,187,641
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,917	-
のれん償却額	29,600	29,600
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,923	8,943
賞与引当金の増減額(は減少)	110,327	14,905
退職給付引当金の増減額(は減少)	59,284	113,957
持分法による投資損益(は益)	18,539	124,038
固定資産除売却損益(は益)	55,743	13,676
受取利息及び受取配当金	31,826	47,459
支払利息	59,020	34,652
為替差損益(は益)	7,639	5,325
売上債権の増減額(は増加)	3,856,093	3,923,262
たな卸資産の増減額(は増加)	487,899	290,744
仕入債務の増減額(は減少)	3,108,191	2,807,977
未払金の増減額(は減少)	41,352	91,729
その他	470,793	35,678
小計	5,467,859	5,744,305
利息及び配当金の受取額	29,995	44,730
利息の支払額	60,259	37,534
災害損失の支払額	-	141,374
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,561,531	876,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,876,064	4,733,972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,113,290	2,254,932
有形固定資産の売却による収入	7,008	225,274
無形固定資産の取得による支出	90,390	83,924
投資有価証券の取得による支出	11,339	11,697
その他	73,135	82,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,134,877	2,207,693
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	159,737	962,533
長期借入れによる収入	1,499,955	800,000
長期借入金の返済による支出	347,785	306,787
自己株式の取得による支出	506	160
自己株式の売却による収入	51,136	76,040
配当金の支払額	421,084	567,753
その他	25,059	31,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	596,918	992,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	77,658	53,538
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,260,446	1,586,950
現金及び現金同等物の期首残高	4,846,714	7,093,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,107,161	8,680,212

## 【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
該当事項はありません。

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、Fuji Seal Vietnam, Co., Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。

## 【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
該当事項はありません。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
該当事項はありません。

## 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。
(在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更) 在外子会社等の収益及び費用については、従来、当該在外連結子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、前第3四半期連結会計期間から期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間については従来の方法によっており、変更後の換算方法を適用した場合、売上高は873,601千円、営業利益は95,322千円、経常利益は92,838千円、税金等調整前四半期純利益は93,709千円増加いたします。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 年金債務調整額は、米国会計基準を適用している在外子会社において、年金債務を追加計上したことに伴う純資産の調整額であります。	1 同左

## (四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">1,802,477千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">376,671</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">46,613</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">49,608</td> </tr> </table>	給与手当	1,802,477千円	賞与引当金繰入額	376,671	退職給付費用	46,613	貸倒引当金繰入額	49,608	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">1,838,092千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">345,393</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">49,820</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">23,940</td> </tr> </table>	給与手当	1,838,092千円	賞与引当金繰入額	345,393	退職給付費用	49,820	貸倒引当金繰入額	23,940
給与手当	1,802,477千円																
賞与引当金繰入額	376,671																
退職給付費用	46,613																
貸倒引当金繰入額	49,608																
給与手当	1,838,092千円																
賞与引当金繰入額	345,393																
退職給付費用	49,820																
貸倒引当金繰入額	23,940																

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)												
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">8,035,297千円</td> </tr> <tr> <td>当座借越(負の現金同等物)</td> <td style="text-align: right;">928,136</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,107,161</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	8,035,297千円	当座借越(負の現金同等物)	928,136	現金及び現金同等物	7,107,161	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">9,411,580千円</td> </tr> <tr> <td>当座借越(負の現金同等物)</td> <td style="text-align: right;">731,368</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,680,212</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	9,411,580千円	当座借越(負の現金同等物)	731,368	現金及び現金同等物	8,680,212
現金及び預金勘定	8,035,297千円												
当座借越(負の現金同等物)	928,136												
現金及び現金同等物	7,107,161												
現金及び預金勘定	9,411,580千円												
当座借越(負の現金同等物)	731,368												
現金及び現金同等物	8,680,212												



## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月19日 取締役会	普通株式	421,084	15	平成22年3月31日	平成22年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月8日 取締役会	普通株式	425,814	15	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

(注)上記の配当金の総額には、三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)に対する配当金を含めて  
おります。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	567,753	20	平成23年3月31日	平成23年6月3日	利益剰余金

(注)上記の配当金の総額には、三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)に対する配当金を含めて  
おります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月8日 取締役会	普通株式	482,588	17	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

(注)上記の配当金の総額には、三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)に対する配当金を含めて  
おります。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	北中米	欧州	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,943,445	7,880,212	4,897,016	46,720,674	-	46,720,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	362,959	9,745	509,202	881,908	881,908	-
計	34,306,405	7,889,957	5,406,219	47,602,582	881,908	46,720,674
セグメント利益	3,691,985	793,076	547,610	5,032,671	440	5,033,112

(注) 1. セグメント利益の調整額440千円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北中米：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北中米	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	33,317,899	7,578,505	5,367,273	603,234	46,866,913	-	46,866,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	759,807	9,460	360,675	53,506	1,183,450	1,183,450	-
計	34,077,707	7,587,966	5,727,948	656,741	48,050,363	1,183,450	46,866,913
セグメント利益又は損失( )	3,562,934	772,824	309,039	25,017	4,619,779	47,689	4,667,469

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額47,689千円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北中米：アメリカ、メキシコ

  欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド

  アセアン：インドネシア、ベトナム

4. 第1四半期連結会計期間より、アセアン諸国への市場拡大のため設立した(株)フジシールサウスイーストアジア、PT. Fuji Seal Indonesia及びFuji Seal Vietnam, Co., Ltdの事業展開に伴い、報告セグメントに「アセアン」を追加しております。なお、当該報告セグメントの変更に伴う前第2四半期連結累計期間の金額に関する情報に変更はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

企業集団の事業の運営において重要なものとなっておりますが、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっておりますが、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

対象物の種類が通貨及び金利であるデリバティブ取引は、企業集団の事業の運営において重要なものではなく、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	112円09銭	110円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	3,147,742	3,104,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	3,147,742	3,104,148
普通株式の期中平均株式数(株)	28,081,100	28,151,380

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 「1株当たり四半期純利益金額」の算定上の基礎となる自己株式数には、従業員持株E S O P信託口が所有する当社株式(前第2四半期連結累計期間末288,700株、当第2四半期連結累計期間末213,500株)を含めております。これは当社と信託口が一体であるとする会計処理に基づき、三菱UFJ信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)が所有する当社株式を含めて自己株式として処理しているためであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額・・・482,588千円  
(ロ) 1株当たりの金額・・・17円00銭  
(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成23年12月1日

- (注) 1. 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録した株主に対し、支払いを行います。  
2. 上記の配当金の総額には、従業員持株E S O P信託口が所有する当社株式(自己株式)213,500株に対する配当金を含んでおります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社フジシールインターナショナル  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 朝喜 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 溝口 聖規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジシールインターナショナルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジシールインターナショナル及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。